

新興国発企業の国際化によるビジネスエコシステムの構築に関する研究

王 碩（埼玉大学大学院）

近年、世界市場における新興国発企業のプレゼンスは無視できないほど高まっている。これらの企業は、国際化を進めつつ、先進国発企業との間で多くの注目すべき M&A 事例を生み出している。それらの企業がどのように激しい競争を闘い抜き、事業を順調に展開しているのかは、重要な課題となっている。本稿では、「企業生態系：ビジネス・エコシステム(Business Ecosystem)」という概念を用いてこれらの現象説明を試みたのである。

ビジネス・エコシステムは生態学のアナロジーとして提唱され、多数の企業が結びついて獲得した価値を共有し、相互依存している状態を表す概念である。これにより、産業を超えた企業間の協働や競争複雑化している関係を説明することができる。

これまでのビジネスエコシステムに関する研究は、先進国発企業を対象とし、それらが長年にわたり蓄積した優れた経営資源を利用してビジネスエコシステムを構築する過程に注目していた。一方、新興国企業は、積極的にグローバルな事業展開を推し進めることで、多くの経営資源を獲得し、ビジネスエコシステムを構築しているが、これに対する研究の焦点はまだ十分に当てられていない。本稿では、新興国発企業の国際化によるビジネスエコシステムの構築過程を明らかにすることを目指す。

具体的な研究対象として、中国の大手家電企業「ハイアール」が構築したビジネスエコシステム「COSMOPlat」を選び、インタビュー調査を行った。

分析の結果、新興国発企業がビジネスエコシステムを構築するには、次の3つのステップが必要であることが明らかにした。「国境を越える業務提携先の確保」、「経営資源交換意識の確立」、「全面的な組織改革」である。

本稿が示すインプリケーションは、新興国発企業の国際化によるビジネスエコシステムの構築について、ビジネスエコシステム論の発展に新たな知見を提供した。また、実務面では、激しい競争から脱却しようとする企業に新たな解決策を提供する。